

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和04年04月01日

計画の名称	幸田町における広域的水環境向上												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	幸田町												
計画の目標	下水道整備を行うことにより施設の有効利用、効率化を行うことにより維持管理費の抑制を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	730	A	730	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	下水道処理人口普及率を72%(H29年度末)から79%(R5年度末)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)×100	H31 72%	R3 73%	R5 79%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	幸田町	直接	幸田町	管渠(汚水)	新設	汚水管整備 公共下水道区域	汚水管 L=1900m	幸田町						730	-	
											小計						730		
											合計						730		

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

幸田町で実施

中間評価の実施時期

令和3年度終了後（令和4年度）

公表の方法

幸田町のホームページに記載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道整備を行った結果、幸田町逆川区及び高力区が公共下水道に接続され、広域的な維持管理費抑制の基盤が整った。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

大草区をはじめ、農業集落排水区の公共下水道接続を進めていく。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中間 目標値	73%
	中間 実績値	73%